

西新宿七丁目町会

青年部ニュース

No.11

防火組織づくりに御協力を

町会長 井西将夫

今度諸兄には東京消防庁震災対策事業の一環として、区民消防隊を結成され、又町会運営に中堅幹部として積極的に参加せられ感謝にたえません。又一家の支柱である諸兄は貴重な時間をさき「奉仕して求めず」の精神にて、町会青年として地域発展のため尽力され強力な相互連帯意識のもと青年部独自の発想と活動は他町会に誇るべきものと信じます。

前青年部長石川慶太郎氏も今回防災部長に就任

して戴き青年部諸兄と共に今後一層の活躍をお願いした次第です。

さて主題を今回の防災組織作りに変え、我七丁目町会は新宿副都心の超高層ビル群と地域の中高層ビルに囲まれた他所では見られない地域にあり木造住宅の密集した商業地区である。終戦により戦争放棄した我が国は戦後三十有余年の平和に倦んでいる。「満れば欠ける」と謂う諺の如く二十世紀の後半は今や物質文明は最頂点に達しつつある現

在、関東大震災より五十三年を経、既に南関東には「マグネチュード」7相当の地震エネルギーが蓄積され、いつ大地震が発生しても不思議でないとの説もあり大自然の脅威がいつ来るか未知であると共にビル基準の耐用年数は六十五年乃至百年以上と云われていますがいざ震災時に至っては保証の限りでなく万一にも関東大震災の大惨事をひき起さぬよう念願してやまないものであります。

ここに敬愛せる諸兄に地域防災のためあえて提言するなれば人間一人一人の顔、像も違う様に思想も異なり、又個人の自由を束縛する事は出来ないのではありませんが、地域住民の尊い生命財産を守るといふ目的は一致して

おり備えあれば憂いなしの隣保共同の連帯意識を高揚せねばならない時に当って世代をになう諸兄は独自の熱情のもとに防災組織作りの啓蒙運動を起し町民各位の参加を期し防災目的達成の実を揚げ新都心の吾地域住民のいささかなりとも安全を求めてやまないものであります。

☆ 新町会長紹介 ☆

” 井西将夫氏 “

西新宿七ノ十五ノ十六

Ⅷ三七一―三六七八

井西質店経営

多年に亘り、町内に貢献し、総務部長、副会長を歴任、今日に至る。

◎ 成子天神社氏子総代
令息は青年部員として
第九ブロックに所属

町会長辞任に際して

前町会長

高 須

保

去る一月二十三日、町会長を辞任するに際して、町会長の責任について、今更に種々と思ひ至り、ベターかも知れないが、それは決してベストではなかったのではないかと、次々に反省されて内心忸怩たるものがあります。八年間の長い間、特に青年部の皆さんに大変お世話になり、ほんとうにありがとうございます。皆さんの心温まるご協力と声援に支えられて、今日あるを得ました。この紙上を借りて、全部員の方に心から御礼申し上げます。

皆さんが、意欲的に真摯に取り組む、幾多の立派な成果を収めて、新宿一の西新宿七丁目青年部の声価を内外に示しました。この立派な青年部があるが故に、町会長の面目を享受したことは、再三再四にとどまりませんでした。尚ここで忘れてはならないことは、石川初代部長の創立当時の大変な苦労が、今日の青年部を確固不動にした基であることです。石川さん始め、皆さんに拍手を送り、ペンをおきます。皆さんありがとう。合掌

防火防犯パトロールを終つて

部 長

荒 井

保 次

石川前部長の時に始められ青年部恒例の行事となつた防火・防犯パトロールも、去る二月末日で無事第三回を終了致しました。回を重ねるごとに参加人員も増し各人の負担が軽くなつたとは云うものの年間で最も寒さのさびしい季節、皆様の御苦労に心から厚くお礼申し上げます。又今後パトロール期間や時間等につきまして、町内の方々から二、三御要望もございりますが役員や部員の皆さんとも協議して町内や近隣のより一層の安全の為、最善の努力をして行きたい所存です。

苦労を分かち合い、楽しみを共にする中から青年部の和が生まれ団結が築かれるものと思ひます。今後パトロールや、リクリエーションその他、青年部の事業に皆様の御協力をお願い致します。尚慰労会におきまして多額の御協力を頂いた町会、及び町内有志の方々、パトロール期間中私達に暖かいたわりや激励の言葉を掛けて下さいました皆様に紙面を借りて感謝の言葉をのべさせて頂きまします。有難うございました。

区民消防隊長に就任して

深 野

一

彦

二月初めの事である。町会役員、区民消防隊の件で、緊急役員会がもたれた。結局、例会に持込む事になり、町会役員の件は別にしても、消防隊の件は、どうしても青年部で引受けざるを得なくなり、当日の出席者となるべく公園の近くの者という事で、正隊員十名、副隊員十名を選し、町会の方に部長より報告して戴く事にした。

さて、区民消防隊とは、大都市震災対策の一環として、小型動力ポンプ、貯水槽の設置と併せて、避難道路周辺地域の延焼拡大防止を目的として設置されたものです。以上の様な目的に該当する為、当地区柏木公園にポンプが置かれました。例会数日後、部長より隊長に私深野、副に小見山、笹生両氏とのお話で、辞退申し上げたのですが、私達三人が青年部副部長と云う関係上受けざるを得なく、ここに新ためて重大さを感じる次第です。結局消防隊員として後記の正十名、副十名で発足する事になりました。消防隊の指導体制としましては、消防署及び地区の消防団員をお願いしてあるそう、一日も早くポンプの操作を覚えてほしい

との要望に、消防団員を中心とした集りをする事になり、団員の会田氏、渡辺氏、籠宮氏の指導の基に行われました。三月十四日、ポンプの名称、操作のあらまし等、一時間に渡り説明して戴く(柏木公園にて)。三月二十四日町会長並びに役員、団員、そして隊員の参加で三町会合同のポンプの入魂式(成子天神)。四月十二日、三町会合同隊員教育指導実施に伴う説明会(十二社消防署にて)。四月十四日、区長の呼びかけにて、防災課長、新宿消防署長等を含め、町会長を始め、役員並びに隊員が集まり、打合せ会が行われた(新宿区役

所にて)。来る五月十六日、午後一時より京王プラザ脇、都有地にて、消防署指導の訓練が予定されております。以上の様を訳で、消防隊の活動はこれからだと思ひますので、隊員の皆様、青年部の皆様今後共よろしくご協力の程、お願い致します。(四月三十日記)

正隊員	荒井保次	小嶋茂
	井西正一	尾沢孝宜
	上野勝夫	鈴木康夫
	小見山猛	中村隆一
	笹生栄一	田辺光夫
	鈴木公雄	三瓶吉春
	豊永文夫	河野洋寿
	深野一彦	佐藤豊
	矢沢博	小林孝一
	若山直義	近藤隆二
		順不同

パトロール 一言

第一班 小林正典

恒例の夜警も年々参加人員が増え、当番の間隔が長くなり、日程表が配られるほど盛大になりました。

それだけに雨や雪で中止になると心のこりのする人がいるとか。

特に寒さが身にしみたら、今年、乗り捨てられた自転車が目につきました。これは歩くのが面倒になり、鍵のかけてない自転車をちよつと拝借して用が足りると、その場に乗り捨ててるらしいのです。くれぐれもご用心のほど。

第二班 大沢信行

夜警とは、誠に「ヤツケー」なものです。又開始時間が、少し早いよう

な気がします。

第三班 岩本 久

今年も皆の努力で、無事に防火防犯パトロールを終了した。毎年廻っている西新宿七丁目も年々不燃化され、その姿を変えているのに驚かされる。それと共に違法駐車が多い事です。これから何か町会の特製ステッカーでも作つた方がよいのではないだろうか？

第四班 鈴木昭吉

「夜警」この言葉の持

つ響きには各人各様の受け止め方があると思います。冬空の高さ、重くたれ込めた冬雲の空、肌をさす木枯の吹く夜、すべて夜警をする者を取り囲む舞台装置です。ヤケに響く拍子木の音が冬の寒気を突き抜ける、外の寒さと反対に人と人との結び付が暖まる、人間は自然の中に浸ると浄化される様な気になる。夜の新宿七色ネオン飲みやの前を通ると一際カチカチと強くたたく中の人にはお気の毒急に里心付いてそそくさと出て行く、帰心矢の如しとはこの事です

第五班 中村隆一

夜の十時半ないしは、十一時ごろから十二時過ぎまで班により多少の違

いはあるようですが、雨の日や冷たい風の吹く時の防火・防犯のパトロールに貴重な時間をさいてくださいまして、有難うございました。

幸なことに巡回期間中火災もなく、本当によかつたと思います。

第六班 田辺光夫

冬の寒さも辛くはないが

夜警すむまで呑めぬ辛さよ

第七班 三瓶吉春

寒空の夜、十一時頃、精一杯厚着をして家を出る。防犯と火の用心を兼ねた夜回りへの出発である。

西新宿七丁目の町をパトロールしながら「一人でも多くの人が鍵のかけ忘れに注意し、火の用心

に気が付いてくれたら」
と思いつつ拍子木をたたきながら歩いた。自分は初めて参加したが、とても有意義な事だと思った。

第八班 武藤栄男

十二月一二月まで、みなさんの応援を得て、無事夜警を終える事が出来ました。

何分にも一年中で一番寒い時期の事です、夜中の見回りはとても堪えました。しかし町内の人達に喜んでもらえた事でそのつらさも忘れてしまします。今後とも皆様の御協力を得て続けては

第九班 籠宮武男

昨年十二月より二月末日までの期間で、毎夜四、五人のグループで防火防犯の為の夜廻りをしました。午後十一時からの巡回

は大変です。昼間はそれぞれ自分の仕事をし、夜は寒風の中、小雨の時、土旺、日旺の夜はのんびりしたい時もあります。でも巡回の時に町内の方々より「御苦労様です」と声をかけられると寒さも忘れれます。

今後町内の安全と繁栄の為に青年部は協力をして行きたいと思ひます。「火の用心お休み前に火の点検」

第十班 鈴木公雄

部員の皆様おつかれ様でした。第十班全員感謝しております。私達の希望としまして、今年も又大きい声を出してパトロールをしようではないかと言ひ事と拍子木を大きな音で正しく打つこと。町内の人達が耳にして、今日も安心して眠る事が

出来る様な音色。

「消火栓の上の駐車、又ゴミの山。町内の皆様西新宿から火災とゴミと犯罪を追放しましょう」

もう一つは十一月よりパトロールを開始しようではありませんか。

又子供を交通事故から守り町内での防火防犯に協力して下さい。

第十一班 渡辺勝栄

パトロールを情性でなく、効果的にせねばならないと思う。町内も最近都市化され、ビル店舗が多くなり、防火防犯面の管理が重要視される。我々消防団員として、出火報により出動して思ひ事は「住人」「管理者」不在の建物が多い事である。カギが開かず火災の延焼をきたす事がある。近所または知人等に連絡で

きるような不在者建物に對する対策として、町会連絡網の組織づくりをお願いする次第である。

第十二班 小林孝一

毎年暮から春さきにかけて新聞紙上に掲載されている火事、放火、それを少しでも少なくしようとして始めたのが夜廻りだと思ひます。

夜廻りをしていて、気がついた事は、紙くずとか古材などのもえやすい物があちこちにすてられており、非常にきけんだと思ひました。

わずかな油断が取り返しのつかない事につながつて行く恐しさ、それを一人一人が心がけて明るい毎日を過したいと思ひます。

パトロール打上げ慰労会

7 B 近藤 隆 二

第三回の夜廻り打上げの慰労会は三月七日(日)成子天神社で総務部長小嶋茂君の司会で五時二十分開会された。

まず荒井部長の挨拶、井西町会長、佐々木副会長が欠席の為高須前町会

長の祝辞 秋山金造親興会々長の祝辞を載き続いて石川前部長の音頭で乾杯、次に小見山副部長(総会事業)担当より夜廻りの経過報告があつた。今回の慰労会でのハイライトはコロムビア専属小山田亀月さんの民謡であり慰労会の会場を一段と明るくして載いた。プロの唄った後では部員から歌が出ないのではないか

と思いましたがさすが青年部の皆さん、大いに唄い飲み来年度の夜廻りに意を強くした。

最後に、深野副部長の音頭で中々、楽しい一夜だった。

寄附者

七丁目町会様 こま鳥様
井西将夫様 林 一夫様
高須 保様 紗代様
佐々木憲一様 新宿区新聞様
鈴木松夫様 時 屋様
千 徳様 斉藤 満様
桜井一雄様 小山田亀月様
林 屋様 新宿警察様
親興会様 浅井憲竜様
荒井保次様 カップ様
玉川きん様 金丸泰明様
喜代美様 マミー様
サン理容室様 升 本様

スピーカー

編集後記

日帰り「バス」旅行
来る六月二十日(日)
八王子サマランドゆきが決定しました。
申込方法など、詳細は後日、各自お手許へお届け致しますので、多数の方々の御参加を希望致します。

☆おめでとう

1 B 中村保信君

次女 好身ちゃん

☆淀一小だより

校長先生及びPTA会長が変りました。

新校長 直良達弘先生

PTA会長 若山直義君

特に若山君は青年部員で御座いますので、今後何かと皆様の御後援をお願い致します。

今回も皆様の御協力を得て、たくさんの方の原稿が集まり、編集員一同深く感謝します。特に「パトロール一言」では、総務部から各班に依頼しましたところ、意外に多くの原稿をいただき一同意を強くしております。次回も一人でも多くの皆様の寄稿を載せて発刊したいと思えます。部に対する意見、希望、批判、あるいは皆様の随筆、詩、俳句、歌、何でも結構です。「青年部ニュース」を身近な機関紙として育てていきたいと思えます。気軽に投稿下さい。今後皆様様の御協力を切望します。

尾沢